

世界をリードする  
優良企業を  
見極める。

# フィデリティ・ 米国優良株・ ファンド

追加型投信／海外／株式

販売用資料  
2026.02

お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)のご請求先は



商号等: PWM日本証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第50号  
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

フィデリティ投信株式会社



**UD  
FONT** 見やすいユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。

私たちは見極める。  
米国の持続的成長を  
リードする企業の力を。

世界経済をリードし続ける、米国のトップ企業や  
革新的な成長企業たち。

その中でも、持続的な競争力を持ち、  
長期的な利益成長が期待される優良企業を、  
あらゆる業種から厳選する。

フィデリティ・米国優良株・ファンド。

25年超の当ファンドの運用実績で。

セクター別に構成されたスペシャリストの分析力で。

長期的な資産成長を。分散による安定性も。

フィデリティなら、叶えられる。

世界をリードする  
優良企業を見極める。

# 米国優良株

フィデリティ・米国優良株・ファンド

世界最大級の運用体制で  
優良企業を厳選

全世界で**960**名以上の  
運用プロフェッショナル

ポートフォリオ・マネージャー  
(PM)

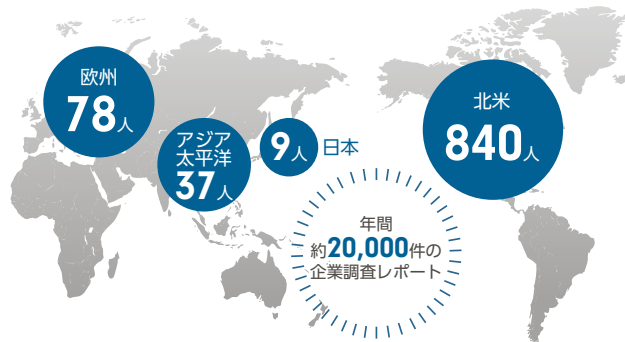
各業界のセクターリーダー



他ファンドのPM

各資産のアナリスト

各地域のアナリスト

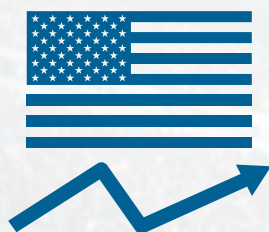


(注) フィデリティ・インベスメンツよりフィデリティ投信作成。運用プロフェッショナル数は2024年12月末時点。運用プロフェッショナル数は、ポートフォリオ・マネージャー、アナリスト、トレーダー、部門マネジメント等を含んだ人数。企業調査レポート数は株式運用チーム全体での2024年の作成数。

\* 上記はイメージです。\* 5ページの「ファンドの主なリスク内容について」を必ずご確認ください。 2

# Q 米国優良企業の特長とは？

A 世界をけん引する大型企業や時代の変化をとらえて成長した企業は、安定的かつ持続的な収益力を備えています



米国経済の  
着実な成長性



安定性に優れた  
大型優良企業

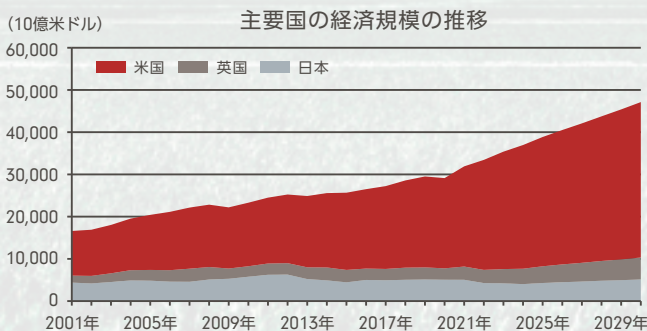


世界のGDPの約4分の1\*を占める米国は、個人消費を支えとして、長期的に着実な歩みが見込まれます。また、時代の変化に対応した新しいビジネスも続々と登場。

※名目GDPベース、2024年末時点。

短期的な景気サイクルに左右されにくく、着実なリターンが期待される大型優良企業。グローバルなビジネス展開によって企業収益の源泉が分散された企業が多く、安定性にも優れた傾向があります。

巨大な  
経済大国でありながら、  
さらなる成長を続ける米国



(注) IMFよりフィデリティ投信作成。2025年10月のIMF発表値を使用。名目GDPベース。期間は2001年～2030年。2025年以降はIMFの予想を使用。

## ◆世界の時価総額 上位企業ランキング

順位	企業名	国・地域名	業種
1	エヌビディア	米国	情報技術
2	アップル	米国	情報技術
3	マイクロソフト	米国	情報技術
4	アルファベット	米国	コミュニケーション・サービス
5	アマゾン	米国	一般消費財・サービス
6	ブロードコム	米国	情報技術
7	メタ・プラットフォームズA	米国	コミュニケーション・サービス
8	テスラ	米国	一般消費財・サービス
9	台湾積体電路製造 (TSMC)	台湾	情報技術
10	イーライリリー	米国	ヘルスケア

世界をリードする  
安定性に優れた  
大型優良企業

(注) RIMESよりフィデリティ投信作成。2025年11月末時点。MSCI AC World指数を使用。国・地域は発行国・地域を表示。業種はMSCI/S&P世界産業分類基準に準拠。なお、アルファベットは議決権のあるA株と、議決権のないC株の時価総額の合算値を元に表示。

# Q フィデリティの強みとは？

## A 当ファンドの運用実績は25年超、 各セクターのスペシャリストが銘柄を選定



25年を超える  
希少な運用実績

国内投資信託において、  
25年超の運用実績を誇る、  
希少な米国株式ファンドです。



セクター別の  
徹底した銘柄選別

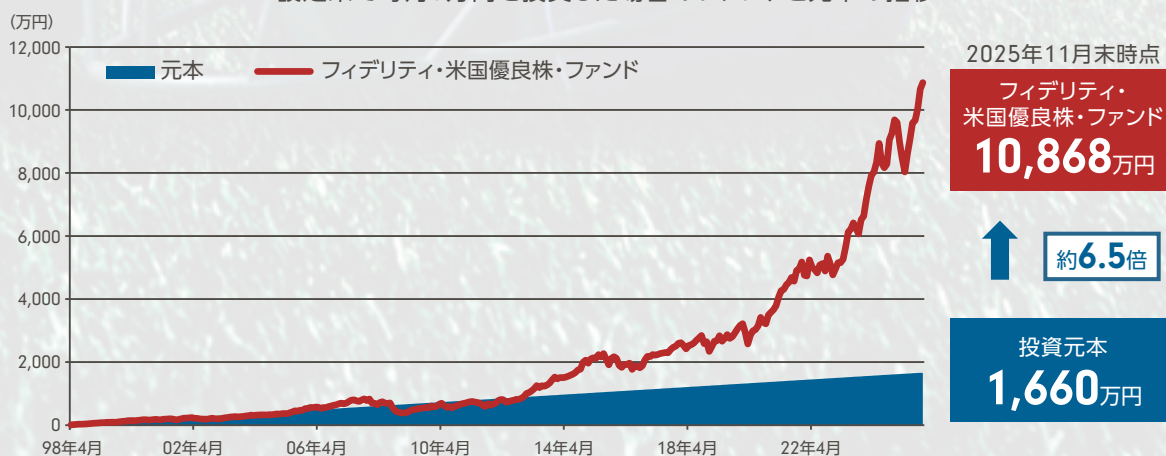
あらゆる業種を対象に、セクターリーダーを中心とする  
ボトムアップ調査を実施。世界主要拠点とも連携し、  
世界をけん引する米国優良企業を発掘します。



当ファンドは様々な局面を乗り越えて推移し、長期の積立効果も期待されます

「フィデリティ・米国優良株・ファンド」

設定来で毎月5万円を投資した場合のファンドと元本の推移



(注) フィデリティ投信作成。期間は「フィデリティ・米国優良株・ファンド」設定日(1998年4月1日)～2025年11月末。収益分配金を再投資した実績評価額(累積投資額)を使用。運用管理費用(信託報酬)控除後、ただし購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮せず。期間初から積立を開始、その後毎月末に積立を行うと仮定し、最終月末には積立を行わない。千円以下は四捨五入した金額を表示。上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もししくは示唆するものではありません。

# 投資方針・ファンドのリスク

## 投資方針

- 1 米国の取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている株式を主要な投資対象とします。
- 2 個別企業分析により、国際的な優良企業や将来の優良企業に投資を行います。
- 3 個別企業分析にあたっては、米国および世界の主要拠点のアナリストによる企業調査結果を活かし、現地のポートフォリオ・マネージャーによる「ボトム・アップ・アプローチ」を重視した運用を行います。
- 4 ポートフォリオ構築にあたっては、分散投資を基本としリスク分散を図ります。
- 5 株式組入率は原則として高位を維持します。
- 6 原則として外貨建資産の為替ヘッジは行いません。
- 7 マザーファンドの運用にあたっては、FIAM LLCに、運用の指図に関する権限を委託します。

※ファンドは「フィデリティ・米国優良株・マザーファンド」を通じて投資を行います。上記はファンドの主たる投資対象であるマザーファンドの特色および投資方針を含みます。

※資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合もあります。

## ファンドの主なリスク内容について

### 基準価額の変動要因

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様様に帰属します。したがって、投資者の皆様様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。

ファンドが有する主なリスク等（ファンドが主に投資を行うマザーファンドが有するリスク等を含みます。）は以下の通りです。

### 主な変動要因

#### 価格変動リスク

基準価額は有価証券等の市場価格の動きを反映して変動します。有価証券等の発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなる場合があります。

#### 為替変動リスク

外貨建の有価証券等に投資を行う場合は、その有価証券等の表示通貨と日本円との間の為替変動の影響を受けます。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

### その他の留意点

#### クーリング・オフ

ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

#### 流動性リスク

ファンドは、大量の解約が発生し短期間に解約資金を手当てする必要性が生じた場合や、主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスクや、取引量が限られるリスク等があります。その結果、基準価額の下落要因となる場合や、購入・換金受付の中止、換金代金支払の遅延等が発生する可能性があります。

#### カントリー・リスク

投資対象国及び地域の政治・経済・社会情勢等の変化、証券市場・為替市場における脆弱性や規制等の混乱により、有価証券の価格変動が大きくなる場合があります。税制・規制等は投資対象国及び地域の状況により異なり、また、それらが急遽変更されたり、新たに導入されたりすることがあります。これらの要因により、運用上の制約を受ける場合やファンドの基準価額の変動に影響を与える場合があります。なお、新興国への投資は先進国に比べて、上記のリスクの影響が大きくなる可能性があります。

#### デリバティブ（派生商品）に関する留意点

ファンドは、ヘッジ目的の場合等に限り、有価証券先物、各種スワップ、差金決済取引等のデリバティブ（派生商品）を用いることがあります。デリバティブの価格は市場動向などによって変動するため、基準価額の変動に影響を与えます。デリバティブが店頭取引の場合、取引相手の倒産などにより契約が履行されず損失を被る可能性があります。

#### ベンチマークに関する留意点

ファンドのパフォーマンスは、ベンチマークを上回る場合もあれば下回る場合もあり、ベンチマークとの連動を目指すものではありません。また、投資対象国または地域の市場の構造変化等によっては、ファンドのベンチマークを見直す場合があります。

#### 分配金に関する留意点

分配金は、預貯金の利息とは異なります。分配金の支払いは純資産から行われますので、分配金支払い後の純資産は減少することになり、基準価額が下落する要因となります。

分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の利子・配当等収益および評価益を含む売却益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。計算期間におけるファンドの運用実績は、期中の分配金支払い前の基準価額の推移および収益率によってご判断ください。

投資者のファンドの購入価額によっては分配金はその支払いの一部、または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。

ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

#### 購入・換金申込受付の中止及び取消しについての留意点

金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情（投資対象国・地域における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策の変更や資産凍結を含む規制の導入、クーデターや重大な政治体制の変更等））があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、及び既に受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消す場合があります。

# フィデリティ・米国優良株・ファンド

追加型投信／海外／株式

商品の内容やお申込みの詳細については

委託会社 フィデリティ投信株式会社  
インターネットホームページ <https://www.fidelity.co.jp/>  
電話番号 0570-051-104 受付時間:営業日の午前9時～午後5時または販売会社までお問い合わせください。

## お申込みメモ

信託期間 原則として無期限(1998年4月1日設定)  
ベンチマーク S&P 500(税引前配当金込/円ベース)  
※S&P 500<sup>®</sup>指数は、ニューヨーク証券取引所、NASDAQに上場している米国の主要産業を代表する500社により構成される米国株の株価指数です。S&P 500<sup>®</sup>(「当指数」)は、S&P Globalの一部門であるS&P Dow Jones Indices LLC(「SPDJ」)の商品で、フィデリティ投信株式会社に対して使用許諾が与えられています。フィデリティ・米国優良株・ファンド(以下「本商品」)はSPDJおよびその関連会社により支持、推奨、販売または販売促進されているものではなく、本商品への投資の妥当性についていかなる表明も行っており、当指数の誤り、欠落または遅延について責任を負いません。  
※S&P 500(税引前配当金込/円ベース)は、現地通貨ベース指数から税引前配当金込指数を計算したものを株式会社三菱UFJ銀行が発表する換算レートをもとに委託会社が算出したものです。  
収益分配 毎年11月30日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益分配方針に基づき分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。  
購入価額 購入申込受付日の翌営業日の基準価額  
換金価額 換金申込受付日の翌営業日の基準価額  
ご換金代金の支払開始日は原則として換金申込受付日より5営業日目以降になります。  
申込締切時間 原則として、午後3時30分までに購入・換金の申込みに係る販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日のお申込み受付分とします。なお、販売会社によっては対応が異なる場合がありますので、詳細は販売会社にご確認ください。  
購入・換金申込不可日 ニューヨーク証券取引所の休業日においては、お申込みの受付は行いません。  
換金制限 ファンドの資金管理を円滑に行うため、1日1件5億円を超えるご換金はできません。また、大口のご換金には別途制限を設ける場合があります。

## ファンドに係る費用・税金

購入時手数料 **3.30%(税抜3.00%)を上限**として販売会社がそれぞれ定める料率とします。  
換金時手数料 なし  
運用管理費用(信託報酬) 純資産総額に対し**年率1.639%(税抜1.49%)**  
その他費用・手数料  
・組入る有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用等がファンドより支払われます。(運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を表示できません)  
・法定書類等の作成等に要する費用、監査費用等がファンドより支払われます。(ファンドの純資産総額に対して年率0.10%(税込)を上限とします)  
税金 原則として、収益分配時の普通分配金ならびにご換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。税法が改正された場合等には、上記内容が変更になる場合があります。  
信託財産留保額 ありません。  
※当該手数料・費用等の上限額および合計額については、お申込み金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。  
※課税上は株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の適用対象となります。当ファンドは、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」及び「つみたて投資枠(特定累積投資勘定)」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。  
※ファンドに係る費用・税金の詳細については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## 委託会社、その他の関係法人

委託会社 フィデリティ投信株式会社  
【金融商品取引業者】関東財務局長(金商)第388号  
【加入協会】一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会  
(注)「一般社団法人投資信託協会」及び「一般社団法人日本投資顧問業協会」は、2026年4月1日付で合併し、「一般社団法人資産運用業協会」へ名称変更される予定です。  
受託会社 三菱UFJ信託銀行株式会社  
運用の委託先 FIAM LLC(所在地:米国)  
販売会社 販売会社につきましては、委託会社のホームページ(アドレス:<https://www.fidelity.co.jp/>)をご参照ください。

- 当資料はフィデリティ投信によって作成された最終投資家向けの投資信託商品販売用資料です。投資信託のお申込みに関しては、以下の点をご理解いただき、投資の判断はお客さまご自身の責任においてなされますようお願い申し上げます。なお、当社は投資信託の販売について投資家の方の契約の相手方とはなりません。
- 投資信託は、預金または保険契約でないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。また、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。販売会社が登録金融機関の場合、証券会社と異なり、投資者保護基金に加入していません。
- 「フィデリティ・米国優良株・ファンド」が投資を行うマザーファンドは、主として海外の株式を投資対象としていますが、その他の有価証券に投資することもあります。
- ファンドの基準価額は、組入れた株式やその他の有価証券の値動き、為替相場の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、組入れた株式やその他の有価証券の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。すなわち、保有期間中もしくは売却時の投資信託の価額はご購入時の価額を下回ることもあり、これに伴うリスクはお客さまご自身のご負担となります。
- ご購入の際は投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取りのうえ内容をよくお読みください。
- 投資信託説明書(交付目論見書)については、販売会社またはフィデリティ投信までお問い合わせください。なお、当ファンドの販売会社につきましては以下のホームページ(<https://www.fidelity.co.jp/>)をご参照ください。
- 当資料は、信頼できる情報をもとにフィデリティ投信が作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。
- 当資料に記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。また、いずれも将来の傾向、数値、運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。
- 当資料にかかわる一切の権利は引用部分を除き当社に属し、いかなる目的であれ当資料の一部又は全部の無断での使用・複製は固くお断りいたします。

